

平成29年度香川県経営・生産対策に係る事業評価委員会 議事概要

- 1 開催日時 平成29年9月4日(月) 10:00~12:00
- 2 開催場所 県庁本館12階 第3・4会議室
- 3 出席者
(委員) 亀山宏、木村乃、久保田英俊、谷本小百合、吉原清美
(敬称略、50音順) 以上5名出席
(事務局ほか) 亀井農政水産部次長、丸尾農業生産流通課課長、田中農業生産流通課課長補佐
ほか各課関係者
- 4 会議の内容
 - 1) 開会
 - 2) 報告事項
事業評価委員会設置要領の一部改正について
 - 3) 議題
強い農業づくり交付金事業について (資料1)
畜産クラスター事業について (資料2)
産地パワーアップ事業について (資料3)
香川県単独県費補助事業の実績等について (資料4)
 - 4) 閉会
- 5 議事の概要 次ページ参照

進行内容	事項	発言内容
開 会	事務局	定刻がまいりましたので、ただ今から「平成29年度香川県経営・生産対策に係る事業評価委員会」を開会いたします。 開会にあたりまして、亀井農政水産部次長からご挨拶を申し上げます。
	農政水産部次長	(次長挨拶)
	事務局	協議事項に入ります前に、本年度、山田浩示委員に代わり山田勇司委員が就任されました。本日は、山田委員の代理として木村様が参加されておりますのでご紹介いたします。委員の皆様方におかれましては、よろしく申し上げます。それでは、次第の2ページにあります設置要領第3-2の規定に基づきまして、平成31年3月までの委員長を選任を委員の方の互選によって行いたいと思います。
	委員	(亀山委員にお願いしてはという声) (賛成の声)
	事務局	ありがとうございます。 ひきつづき亀山委員にお願いしてはという意見をいただき、賛成もいただきましたので、亀山委員に委員長をお願いしたいと存じます。 続きまして、設置要領第3-4に「委員長に事故あるときは、予め委員長が指名する委員がその職務を代行する。」という規定がありますので、亀山委員長にご指名をお願いします。
	委員長	では、恐縮ですが「久保田委員」を御指名させていただきます。
	事務局	ありがとうございます。 それでは、亀山委員長におかれましては、委員長席にお移り頂きますようお願い申し上げます。 ここで、亀山委員長から御挨拶をお願いしますとともに、今後の議事進行をお願いいたします。
	委員長	(委員長挨拶) では、協議事項に入ります前に、「委員会の公開について」事務局から説明をお願いします。
	事務局	本日の委員会につきましては、傍聴を希望される方がいらっしゃいませんので、次第の5ページにあります委員会の公開に関する手続きを省略させていただきます。

報告	委員長	<p>それでは、報告事項に入らせていただきます。</p> <p>まず、「事業評価委員会設置要領の一部改正について」事務局より説明をお願いします。</p>
	事務局	<p>(事業評価委員会設置要領の一部改正について事務局から説明)</p>
議題 ①	委員長	<p>ただいまの事務局からの説明につきまして、御意見等がありましたら、よろしくをお願いします。</p> <p>意見はないようですので次に進みたいと思います。</p>
	委員長	<p>次に、強い農業づくり交付金の実績について、事務局より説明をお願いします。</p>
	事務局	<p>(資料1に基づき農業生産流通課から説明)</p>
	委員長	<p>ただいまの事務局からの説明につきまして、御意見等がありましたら、よろしくをお願いします。</p>
	委員	<p>キウイについては消費の拡大が進んでいるように感じる。しかし、「さぬきキウイっこ」について、なかなか販売している場面に出会えない。栽培面積の拡大もあわせて知名度の向上やPRに努めてほしい。</p>
	事務局	<p>事業を活用して、栽培面積を拡大しており、生産量の増加に伴って、手に取りやすい価格帯の出荷品も増えていくと考えている。</p>
	委員	<p>事業の評価を目標値の達成率のみで行っているが、本来は農家がどれぐらい儲かったかという視点が必要なのでは。そもそも、目標値はどのように出しているのか。</p>
	事務局	<p>事業の交付金交付要綱のなかで定められた成果目標基準において、個々の事業の内容や実情にあわせてポイントを設定している。ポイントを高く設定すると、事業の採択の可能性は高くなるが、達成が難しくならないよう十分な検討のもと決定している。</p>
	委員	<p>ブランド農産物の生産量は逆に急激に増やしすぎないことも重要。無理に増産させてB級品が増えたのでは意味がない。事業の評価は収益がどれぐらい増えたかという視点で判断していくべきだと考える。</p>
	委員	<p>色彩選別機の導入について、県下全域での整備は進んでいるのか。</p>
事務局	<p>県内各地域の集出荷乾燥貯蔵施設ごとの整備計画を立て、他の地域にも順次整備されているところ。</p>	

議 題 ②	委員長	では、次に進みたいと思います。 「畜産クラスター事業について」事務局より説明をお願いします。
	事務局	(資料2に基づき畜産課から説明)
	委員長	ただいまの事務局からの説明につきまして、御意見、御質問等がありましたらよろしくをお願いします。
	委員	酪農でも高齢化が進んでいるが、農家数が減少する一方、大規模な農家が業界を支えている感じだろうか。このような分野に交付金を活用することは望ましいと考えるが、酪農家からは交付金に対して何か要望のようなものは出てきているのか。
	事務局	特に中小規模の酪農家からは、重労働であるうえに休みがとれないことに関して、省力化のためにロボットの導入を進めたいという要望がある。例えば、掃除や子牛への授乳などの作業に対する省力化の要望がある。
	委員	クラスターの考え方に感服した。畜産農家だけでなく、地域の関係者もお互いに関心を持ちながら、地域を活性化できる仕組みとを感じる。ただ、中小酪農家を取り残されないか懸念はある。
	委員	まんのう町のひまわり牛については、知らなかったが、どんな特色があるのか。
	事務局	まんのう町が開発し、平成26年から販売している。同町帆山地区で採れたひまわりの種のオイルを絞ったあのかすをF1牛（乳牛と和牛の交雑種）に与え育てたもの。主にまんのう町内のスーパーで販売している。和牛ほどサシは入らないが、オレイン酸の含有量が高いのが特徴である。
	委員	県内酪農家の外国人労働者の活用の現状について教えてほしい。
	事務局	朝夕の仕事が多いことから、主には日本人のパートタイマーが多いと聞いている。
委員	目標設定が数年後と短期間になっているが、場合によっては長期的な目標値も取り入れながら評価するのも良いのでは。すべてが短期間のうちに効果がでるとは限らないので。	

議 題 ③	委員長	それでは次に進みたいと思います。「産地パワーアップ事業について」事務局より説明をお願いいたします。
	事務局	(資料3に基づき農業生産流通課から説明)
	委員	柑橘のマルチ栽培について、設置が大変ではないのか。
	事務局	導入した資材は巻き上げが可能なもので、従来のマルチよりも省力で設置等が可能となっている。
	委員長	それでは次に進みたいと思います。「香川県単独県費補助事業の実績等に係る評価について」事務局から説明をお願いします。
	事務局	(資料4に基づき農業生産流通課、農政課、農業経営課から説明)
	委員長	ただいまの事務局からの説明につきまして、御意見、御質問等がありましたらよろしくをお願いします。
	委員	農作業支援推進事業について、他事業と比較して補助率が高いので、どのような成果が出たのか、しっかり確認をお願いしたい。
	委員	事業実施主体の分布を見ると、地域的な偏りがあるように感じる。
	委員長	それでは事業評価を終了したいと思います。
	事務局	本日は、長時間にわたり熱心にご検討を賜りまして、ありがとうございました。今後、委員の皆様方からの貴重な御意見や御指導などを踏まえまして、事業の効率的かつ適正な執行に努めて参りたいと存じます。本日は誠にありがとうございました。 閉会